

# 社内報 1月号

## 新年のあいさつ 中野英樹

皆さんあけましておめでとうございます。新しい年を迎えて、また気持ちを新たに頑張っていきたいと思います。昨年は、コロナ禍で心配されましたが、五十周年の記念パーティを開催することが出来て本当に良かったと思います。社員一同が集まることは、なかなかできることではなく、これから先も次はいつになるか、ひよっとするともうないかもしれませんし、何しろ記念すべきことで良かったと思います。今年の4月2日で、50歳の誕生日を迎えますので、何とか残り少ないこの50期を数字の上でも成長を継続させ、51年目につなげていけたらと思います。

2022年は、コロナ禍から回復して良い年になっていかなと少し楽観的に考えていたのですが、現実にはなかなか厳しいものがありました。コロナ禍も継続し、さらに、資材単価の高騰、納品遅延などに加えて、人口減から来る新築着工の減少、国内市場規模の縮小なども顕著となり、一方で少子高齢化からくる人手不足が、コロナから経済を再興させていこうとすると、重くのしかかってきました。我々の中に、少し油断とか準備不足という面もあったように思います。

ただ、こうした問題は、2023年も継続され、さらに悪くなる懸念もあります。社会的な問題には対応していかないといけません、そうしたことに依存したり、また逃れようとしても、また新たなことが起こったりで、我々だけではどうすることもできないことを考えすぎても仕方なく、我々の仕事を良いものにしていく、また、社員が働きやすく、やりがいを感じられ、幸せな人生が送れるような会社にしていくことに、全力を尽くすだけです。数字にこだわると、内容を良くしていくことを考えていきたいです。結果として、伸び率がゆるやかに上がったとしても、それはそれで仕方がないと考えています。そういう中ですが、若い社員も継続して入社してくれており、若い力もベテラン社員も、献身的に仕事してくれており、また、協力会社の皆さんも、よく働き、大変ありがたく思っています。人手不足とか過疎化の進行とか言っても、人が集まる場所はあるわけで、人が集まる会社にしていき、仕事がいただける会社にするしかないと思います。大きな面では市場規模の縮小は、人口減により避けられないかもしれませんが、我々の業界も変化しており、伸びていくもの、新しく生まれてくるものは必ずあります。建設物や住

宅があるかぎり、我々の仕事はなくなることはありませんから、選ばれる会社になれば良く、私たちの周辺には、まだ私たちがやっていない仕事、来ていない仕事もたくさんあります。

有名な中国の故事で、ある老年の僧侶が、木の上で座禅をしている高名な僧侶を訪ね、「仏教の教えとはどのようなのか」と尋ねると、その木の上の僧侶は「諸悪を行わず、善行を積み重ね、心を清らかにするのが仏の教えだ」と、古くから言われる有名な教えを応えました。するとその僧侶は「そんなことは3歳の子供でも知っている。あなたはいつも木の上に登って危ないではないか」と返すと、木の上の僧侶は「お前の方が危ない。3歳でも知っていることを、80歳になってもお前は出来ていないではないか」と言われたそうです。危ないというのは、その僧侶の考え方、生き方を言っています。この僧侶も学ぼうとして、その高名な僧侶をわざわざ訪ねているわけですが、そうした新しい知恵をただ知ろうとするだけでは、何の意味もないわけです。日々の生活の中で、足下を見つめてどういう生き方をすることが大切なわけです。コロナでいろいろなことが変わったと言われますが、この故事は1500年ほど前のものですが、いろいろ考えさせられます。

一方、技術的なことや、世の中のことは、常に激しく変化を続けています。当社もまだまだ成長、変革を続けていかなければいけません。ある大手の住宅メーカーの方が、笑い話で、「昔は当社もひどい家を作っていたなあ」と言っていました。でも、それは、その会社が大きく変化し、成長した証であり、さらに変化を継続していることだと思えます。そして、「昔」と言っている時も、すでに当時としては技術的に時代の先端を走っており、周りから見ると画期的な進歩的な会社であったと思います。そうしたことを考えると、当社の中には昔から、大して変わっていないで、古いやり方が残っていることはないでしょうか。技術的なことや、仕事のやり方で、もっと新しい効率的な追及を行っていったらと思います。世の中、沢山の企業がありますが、成長している大手企業は、やはり大きく変化、成長していると思います。一方、中小・零細企業は、本当に変わっておらず、昔ながらというところも多いのではないのでしょうか。そして、人手不足に大変苦しんでいます。

さて、2023年、当社は51期を迎えます。毎年の成長を目指して取り組んでい

ますが、会社も50年が経つと、昔のやり方、固定観念などがしみついて、陳腐化していることやすでに不必要になっているのに、そのまま続けていることもあると思います。また、当社の成長の過程から、元請け企業や取引ルート先に依存する体質があります。もちろん大切な取引先であり、また学ぶところも沢山あり、謙虚な姿勢でいることは大切ですが、当社がさらに力をつけていくためには、そうした依存体質から脱していくことも必要です。歴史を積み重ねていくことは、もちろん良いことで、過去の経験・ノウハウを尊重しつつも、常に刷新し、新たな挑戦をしていくことが、長く生き抜く秘訣であると思います。

## 資格取得の勧め

法人ルートで、建築系のリニューアル・リフォーム工事が、増加してきました。戸建て住宅では、防水工事に加えて、塗装工事、シール工事、足場工事をセットで受注することが増えてきました。また、戸建て住宅以外の集合住宅やビル等の改修工事案件も増加してきています。東京中央(営)、リニューアル工事部、法人建設課で、そうした建築系工事を先行して行ってきましたが、徐々にすべての営業所へと広がりができてきました。今まで、建築系の資格取得は、建設事業部を中心にやってきたところがありましたが、法人系ルートで、非住宅や集合住宅の建設物の改修工事が増えてきて、また1件単価も大型化しており、戸建てリフォーム中心の建設事業部より、資格取得者の需要が高まってきました。1級と2級で出来る仕事の範囲の違いは、請負金額で基本的に決まっていますが、内容的には、不特定多数の人が利用する公共性のある建物は、基本的に1級の資格が求められます。集合住宅においても、個別の住宅内部の仕事は2級の資格でもいいのですが、共用部分の工事は1級資格の範疇とされています。資格の取得に励んでいきましょう。自分が行っている仕事、また自分の部門が行っている仕事ができる資格は、自分自身で所有しましょう。一人前と言われるために。

## 会社社屋の環境負荷の低減

SDGsが、現在を生きる人類の大きな課題で、企業活動も持続可能な成長でなければならず、環境負荷の低減はとて重要です。当社は、現在グループ全体で16か所の拠点があります。そのうち自社所有が9か所です。コロナ禍で在宅勤

務が奨励される風潮で、オフィスの縮小、簡素化、費用低減がトレンドですが、当社では、コロナ禍においても継続してオフィスの自社所有化を進めており、職場環境の充実を図り、働きやすい環境を提供し、社員や協力会社さんも含めて、コミュニケーションを増やし、自由闊達で活力ある企業風土の醸成に努めています。また、リフォーム、リニューアル工事には、必須な解体、撤去工事から排出される産業廃棄物の処理量が増加しており、その分別処理

に要する用地の必要性も高まっており、今後の大きな課題です。また、各拠点のエネルギー効率向上を図り、CO2 削減に努めており、現在、太陽光発電設置拠点5カ所（本社、三河、岐阜、名古屋東、瑞穂）、蓄電池設置拠点3カ所（岐阜、名古屋東、瑞穂）となり、今後さらに、自社所有拠点数を増加させ、太陽光発電、蓄電池設置拠点を増加させる計画です。こうした設備は、すべて売電ではなく、自己消費で行っており、建物の断熱性も高め、もっ

とも効率的な運用を追求して環境負荷の低減に努めています。また、本社、春日井の大規模拠点は、エネルギー効率の良いガスエアコンを採用し、各拠点で照明のLED 化も早期に行い、電力使用の低減に努めています。

無駄なエアコン使用をやめ、消灯、パソコンの電力 OFF など待機電力の低減にも努めて2023 年は、オフィスでの環境負荷低減をさらに進めていきましょう。

## 施工事例紹介

- 施工場所 大府市
- 工事名 給湯器取替工事
- 内容 給湯器→アイシン製エネファームへ取替  
エネファーム用置き架台打設  
200V電源増設  
床暖、追焚き、湯、水配管延長



- 担当 設備事業部 東海統括課  
杉本 佑貴・伊藤 貴紀・生山 和樹

給湯器からアイシン製エネファーム取替工事の事例を紹介いたします。お客様から、長年使用した給湯器の交換希望を受け、エネファームへの取替を提案させていただきました。工事としては、エネファームを置く架台を作れるか現地調査し、エネファームを設置する日までにコンクリートを打設し架台を作っておきます。設置当日に電気工事で分電盤から 200V を配線し、湯、水、追焚き、床暖配管を延長しました。給湯器取替え工事はお客様がその日の夜にはお風呂や湯を使用されるため、夕方までには工事完了が必須となります。そのために事前の準備をしっかり行い、当日スムーズに工事が進む様に段取りしています。エネファームの取替えはいつも大変ですが、その分、お客様から喜びの声をいただいたときの達成感は大きいです。

## ちょっと一言

### 「健康管理」



東京事業部 東京中央営業所  
上野 昌彦

あけましておめでとうございます。

入社2年 東京中央営業所の上野です。本年もよろしくお願いいたします。

皆さんは日々の健康管理で意識していることはありますか？私は毎日継続していることが一つだけあります。それはお風呂上がりのストレッチです。ストレッチには、疲れて凝り固まった筋肉がほぐれることでコリの予防だけでなく、体力の回復や代謝促進が期待できるそうです。また、心身がリラックスするため、睡眠の質が高まる効果もあります。「継続は力なり」と言いますので、どんなに疲れていても面倒くさいと思う時も最低 10 分程度はストレッチをするようにしています。しかし、私のここ1、2年の健康診断では中性脂肪の数値が標準値よりも高くなってきています。最初に診断結果を見たときはショックでした。中性脂肪が増えていくと動脈硬化を引き起こす危険が伴い、その結果心筋梗塞や脳梗塞など生活習慣病のリスクが高くなるそうです。今年で 40 歳を迎えるので健康診断の結果を受け、食生活を見直し、適度な運動を心掛けていこうと思います。最後に一番大切なのはこころの健康管理だと個人的には感じます。私にとって家族との時間が一番のこころの安らぎです。

皆さんが今年1年間、こころと身体が健康で過ごせるよう願っております。

## ★Happy News★

### 資格取得おめでとうございます

- ★設備事業部 関東統括課 西岡さん
- ★設備事業部 東海統括課 山本さん  
二級建築士